

事項	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
<p>少子化対策について</p>	<p>子供の人数も減少し続ける中で、その対策として、強制はできないが、「子供二人以上政策」などは、いかがなものか。</p>	<p>少子化対策として、フランスでは、2人以上生まれた家庭は納税額を減額する、3人以上では将来受け取る年金額を増額するなどの対策をとることで、出生率を上げることができました。本市でも、子供の人数に応じて対応している（支援）制度はありますが、子供の誕生に対して直接的に、何か（支援・補助金など）を受けられる制度については、まだまだ十分ではないと感じています。「子供の数」を増やすための政策は、ある程度の費用を拠出して、実施すべきかもしれませんので、今後の課題として持ち帰ります。</p>	<p>—</p>	<p>福祉課</p>

事項	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
I P Uについて	<p>公立化断念後の対策はなにかあるのか。</p>	<p>この件につきましては、様々な御意見があった中で、（大学が存在し、）若者たちがいることで、地域に及ぼす様々な好影響（経済波及効果、アルバイトなど労働力の供給など）があることは十分に認識していますが、将来まで見据えて総合的な判断として公立化を断念いたしました。現状は、今年度の学生（来年度入学する学生）を募集はしないということをお聞きしています。一方、高等教育機関としては、市内に複数の専門学校もあることや、あるいはI P Uとは別の短大・高等教育機関などを招致してはどうかという御意見もあります。市として、（若者が地元に着するため）何ができるのかということを引き続き考えていきたいと思っております。</p>	<p>—</p>	<p>企画情報課</p>

事項	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
<p>集会所への補助について</p>	<p>公民館と集会所を比較した場合、あらゆる面において公民館が優遇されている。（公民館は市費管理、集会所は地元負担）すべてにおいてとまでは言わないが、集会所の管理等について補助などできないか。</p>	<p>公民館は地域における社会教育提供の場であり、集会所は地域の方々の集まる場所として、そもそも施設の性質や使用目的において違いがあります。</p> <p>今回、地域づくり交付金の全体的な増額や交付金を活用できる内容を拡充したのも、御意見のような内容も踏まえてのもので、集会所管理に必要な事項（修繕、光熱水費等）においてどのような（どの範囲までの）活用が可能なのか、改めて担当課に確認します。</p>	<p>地域づくり交付金については、防犯灯を除き、すべての「経常経費である光熱水費等」については交付対象外経費となっています。</p> <p>なお、集会所の修繕等については、補助率1/2の補助金の制度があり、毎年、連合自治会の総会において、各地区の自治会長に資料を配布し周知を行っています。集会所の改修が必要な場合は、自治会長からお問い合わせください。</p>	<p>企画情報課</p>

事項	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
防犯カメラの設置について	<p>安心・安全のために、地区内の公共施設（特に保育園、学校など）に必要と思うが。</p>	<p>全国でも子供が被害にあう事件が発生しており、防犯に対する意識は高まっていると認識しています。以前も防犯に対する基本的な設備として対応していければと協議をしていましたが、まずは学校の耐震化を優先して進めていたところです。予算の関係もありますが、今後、防犯に対する安心・安全についても目を向けて、協議していきたいと思います。</p>	-	<p>学校教育課 教育総務課 福祉課 総務課</p>

事項	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
<p>「自治公民館」について</p>	<p>「自治公民館」としての人材（職員）配置をどのように考えるか。</p>	<p>以前は、市職員（主に若手職員）が各公民館に配置されていました。公民館主事は、地域との関わりの中で、地域住民との良好な人間関係を構築する術（すべ）やコミュニケーション能力を磨きながら成長してきたという実績があり、若手市職員にとっても貴重な経験ができるポストであったと認識しています。</p> <p>現在、基幹公民館を除き、公民館主事には嘱託職員を配置させていただいており、様々な公民館活動を支えていただいております。これまでの様々な取り組み（市職員数の大幅削減）の経緯もあり、致し方ないところもあると思っています。</p> <p>人材の新たな配置につきましては、その必要性をしっかりと検討し、予算の関係や議会との協議も必要ですので、しばらくお時間をいただきたいと思います。</p>	<p>行政改革による市職員数の削減に伴い、きめ細かな行政サービス等においてご不便をおかけしている点があるかと思いますが、限られた職員数で行政運営を行っているため、校区自治を対象として、新たに職員を配置するといった対応は難しいのが現状です。</p> <p>なお、第2期としてスタートした地域づくり交付金においては、地域の課題解決や必要性に対応し、地域社会の維持及び活性化に寄与するものとして、地域づくりのために他の制度に比べ柔軟に活用できる交付金となっています。当面、本交付金を活用の上対応を御検討ください。</p> <p>（企画情報課）</p>	<p>企画情報課 総務課</p>

事項	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
<p>老人クラブへの補助について</p>	<p>現在、老人クラブは65歳以上の方が対象になるが、市からは老人クラブ（その活動）へ期待するという言葉をよく聞く。会費と活動の関係からも、会の運営も厳しい状況である。自治会からの助成もいただいているが、市からの補助等もお願いしたい。</p>	<p>老人クラブのみならず、自治会に対しましても日頃から大変お世話になっていることは認識しています。しかしながら、各種の活動経費に対する補助等に関して十分な対応ができていないことも感じています。</p> <p>この度、地域づくり交付金は、地域の様々な実情を踏まえて算定し、地域のなかで必要な活動をしていくために、交付金の全体的な増額とあわせて、その活用方法の自由度も広げたものとしています。</p> <p>これから高齢者の定義（年齢）も上がるだろうと言われています。この年代の方々にまだまだ御活躍いただく（いろいろとお願いする）ためには、その詳細をこの場でお答えすることはできませんが、今後市としても何かお力になれることを考える必要があると思います。</p>	<p>老人クラブへの補助金につきましては、国、県からの補助に加え、市独自の補助金も交付するなど、運営への支援を行っています。また、ガイヤマイレージ制度において、老人クラブ連合会及び各支部事業への参加に、別途ポイントを付与していますので、健康づくりや元気作りの観点からも、ぜひ御活用いただきたいと思います。</p> <p>今後も、老人クラブ連合会との協議等により、適切な支援に努めていきます。</p>	<p>高齢者福祉課</p>

事項	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
<p>交通網の整備について</p>	<p>三浦地域を通るバスの便数が少ない。高齢化も進み、高齢者の移動も大変な状況でもある。何か対応策はあるか。</p>	<p>5月31日をもって、由良半島（愛南町側）における民間バスの運行が終了します。この対応として、本市では（現在、由良半島で運行している）コミュニティバスを延伸して対応することを決定しました。民間バス会社では、運転手の確保が難しくなってきたりなど様々な課題があり、バス路線の維持に苦慮されていると伺っています。先行きは不透明ではありますが、宇和海地区における学生の通学についても配慮する必要がありますので、現行のとおり適正に運行されるものと理解しています。</p> <p>増便については民間バス会社の厳しい事情もあると思います。また、この地域の人口が減少し続け、人がいなくなればバスの運行継続が難しくなる可能性もありますが、市としては公共交通手段の確保については引き続き対応していきます。</p>	<p>—</p>	<p>企画情報課</p>

事項	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
<p>災害発生時における地域組織と市の連携について</p>	<p>三浦5地区において自主防災組織があるが、取り組む内容にばらつきがあり、災害発生時の連携がはっきりしない感じがある。</p> <p>今後、災害時において、避難後を含めて地域でどのような対応をとるのか、また近隣地域並びに市とどのような連携がとれるのか、更には市と県でどのような連携がとれるのかというような計画等はあるのか。時間をかけてでも市全体に行き渡るように示してほしい。（予算の関係もあると思うので、各地域で対応してほしいことなどがあれば、それも含めて）</p>	<p>各地域で立ち上げていただいている自主防災組織については、（本市全体の組織率も含めて、）組織するということまでは進んでいますが、その活動の中身、実態が、本来期待されているところまではいっていないという御指摘もいただいています。また、防災士の育成についても推奨していますが、なかなかその点においても、自主防災組織との連携がとれていない状況でもあります。</p> <p>自助、共助、公助の意識が高いこの地域ではありますので、その先が見えてこないという御心配であろうと思います。市としても県との連携を図りながら、それぞれの地域における具体的・効果的な手法を検討していく必要があると思いますので、今後、具体策がお示しできればと思います。</p>	<p>近隣の市町との連携については、「災害時における愛媛県市町相互応援に関する協定（愛媛県内20市町）」「四国西南サミット災害時相互応援協定（八幡浜市他12市町村）」「瀬戸内・海の路ネットワーク災害時相互応援に関する協定（瀬戸内沿岸70自治体）」を締結して、大規模災害時の相互の応援活動を実施することとしています。また、姉妹都市の、北海道石狩郡当別町と宮城県大崎市とも災害時相互応援協定を締結しています。</p> <p>今後、各地域での防災計画「地区防災計画」の策定を進めるよう検討していますので、その中で地域間連携について検討ができると思っています。</p>	<p>危機管理課</p>